

## 高浜市多文化共生推進プラン(案)におけるパブリックコメントの実施結果について

### 1 パブリックコメント実施状況

- (1) 意見の提出期間 令和6年2月26日(月)～3月11日(月)
- (2) 意見件数 21件(人数4名〔内訳：意見提出箱2名、直接0名、Web0名、郵送0名、ファクス0名、Eメール2名〕)
- (3) 意見対応
- |                                 |      |
|---------------------------------|------|
| ①修正します(意見に基づいて、原案を修正したもの)       | : 4件 |
| ②原案どおりとします(意見を検討したが、原案どおりとしたもの) | : 3件 |
| ③意見として承ります(原案の内容以外の意見を承ったもの)    | : 5件 |
| ④その他(感想やご質問など)                  | : 9件 |

### 2 意見と意見に対する回答

| No. | ページ数 | 意見箇所 | 意見  | 回答   | 対応   |
|-----|------|------|---|--|------|
| 1   | 該当なし | 該当なし | <p>【高浜市多文化共生推進プランについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の取組みとして前向きで非常に重要な事項と考える(海外生活・旅行をこれまで経験してきた自分としても、小さなことではあるが、あいさつ活動など普段から取組んでいる)</li> <li>・日本全体が抱える少子化問題に対して、間接的ではあるが、良い効果を得られると考えるゆえに、高浜市として強力に進めていただきたいし、自分も市民としても協力できるよう尽力するつもりです。</li> </ul> | 高浜市に住む外国籍市民が地域の一員として安心して生活でき、国籍、年齢、性別などが異なる人々が互いの文化を理解しあうことができる地域社会の実現に向けて、「高浜市多文化共生推進プラン」に基づき、一層の多文化共生施策の推進を図ってまいります。 | ④その他 |
| 2   | 該当なし | 該当なし | <p>【今回のプラン案について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙のセンスがとても良い</li> <li>・文字の大きさ文章の量や図、写真の挿入など非常に分かりやすい(他のパブコメ用資料のお手本となりうと思う)</li> <li>・内容として主要事項は、概ね網羅されていると思うので、こ</li> </ul>  | 高浜市に住む外国籍市民が地域の一員として安心して生活でき、国籍、年齢、性別などが異なる人々が互いの文化を理解しあうことができる地域社会の実現に向けて、「高浜市多文化共生推進プラン」に基づき、一層の多文化共生施策の推進を図ってまいります。 | ④その他 |

|   |      |      |   |  |            |
|---|------|------|---|--|------------|
|   |      |      | のまま進めていただきたい。   |  |            |
| 3 | 該当なし | 該当なし | <p>多文化とのコミュニケーションは、言語による障壁と交流の文化が少ないことから、理解を深めることがなかなか進まなかった。</p> <p>しかし、昨今では多文化の国々からの若者が社会の中を増えてきている。これは良い機会ではないかと思う。わたしたちと文化が違うことは知っていても実際の多文化の人々の考え方に直接ふれるほど効果的なことはないと思う。このような交流機会を行政が主導していただけたらと思います。</p> | 高浜市に住む外国籍市民が地域の一員として安心して生活でき、国籍、年齢、性別などが異なる人々が互いの文化を理解しあうことができる地域社会の実現に向けて、「高浜市多文化共生推進プラン」に基づき、一層の多文化共生施策の推進を図ってまいります。                         | ④その他       |
| 4 | 該当なし | 該当なし | 外国籍の市民対象の計画であれば、資料内容は「外国語表記版」も設定されることがあり方ではないでしょうか？   | 高浜市に住んでいる外国籍市民の大半を占めている主要3言語（ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語）＋英語に翻訳をした概要版を市公式ホームページに掲載し、周知していきます。   | ④その他       |
| 5 | 該当なし | 該当なし | <p>愛知県作成の「多文化共生推進プラン」と高浜市の推進プランとは、どこが一緒で、また、どこが違うのか、わかりづらい。</p> <p>⇒ 県と市の施策を効果的に発揮するため整理統合が必要では…</p>  | <p>本計画の策定にあたっては、「あいち多文化共生推進プラン」も参考にしました。</p> <p>多文化共生施策を推進していく上では、必要に応じて県とも連携をしておりますが、県と市では、取組みの範囲や対象の規模などが大きく異なることから、計画の対比は行っていません。</p>       | ④その他       |
| 6 | 該当なし | 該当なし | <p>最優先課題は「意志疎通-コミュニケーション」と思われます。日本語の習得教育もひとつですが、「IT」を活用した「情報伝達」等の仕組みの多用化を図る事が先決ではないでしょうか。</p> <p>例えば、ごみ回収拠点の看板に「QRコード」を掲示し、廃</p>  | <p>外国籍市民との意思疎通を図るための情報伝達、手続きの簡素化等のための ICT 技術の活用については、本計画にも示す通り進めていかなければなりません。</p> <p>例でお示しいただいたごみ回収拠点の看板への「QRコード」の掲示については、今後、成果の検証・改善を行ってい</p> | ③意見として承ります |

|    |                |   |  |   |        |
|----|----------------|---|--|---|--------|
|    |                |   | <p>棄方法をスマホで表示確認できるようにするとか。</p> <p>また「翻訳機能」を活用した音声案内システムを構築も一案。</p>                                     | <p>く中で、必要に応じて検討してまいります。</p>   |        |
| 7  | 9ページ           | 多文化共生に関するアンケートの結果   | <p>「多文化共生」に関するアンケートとして「愛知県」が実施の「外国人県民アンケート」を流用されています。</p> <p>⇒「外国人県民」は「高浜」に対し、同じ意見要望なのでし<br/>ょうか？</p>  | <p>アンケートは外国籍の方が普段の生活などでどのような考えを持っているかを把握し、今後実施していく施策等の参考にするものです。</p> <p>愛知県が実施したアンケートと同規模の調査を市単独で実施するより、愛知県が実施したアンケートを活用した方が、はるかに多くの多様な意見、ニーズや困りごとが確かなデータで確認でき、外国籍市民の状況の大勢を把握することができると考え、「外国人県民アンケート」を活用させていただきました。</p> | ④その他   |
| 8  | 15ページ<br>17ページ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状からわかる課題</li> <li>・基本方針</li> </ul> | <p>P.15「現状からわかる課題」に対し、P.17「基本方針」がどのように関連し、位置づけたのか、分りづらい。</p>   | <p>「現状からわかる課題」は高浜市の外国籍市民の現状やアンケート、これまでの多文化共生の取組みなどからみえてきた課題を記載しています。また、それらを解決するための取組み全体の方向性を示しているのが「基本方針」です。</p>  | ④その他   |
| 9  | 18ページ          | 成果指標  | <p>日本語が十分に理解出来ない外国籍市民に対し、「高浜を、住みやすいと思う外国籍市民」-92.7% の測定方法は疑問。</p> <p>ちなみにUFJ不動産調査-「高浜-住みよさ-521位」と乖離</p> | <p>令和5年度に実施した市民意識調査の際に、無作為に抽出した外国籍市民に対し、やさしい日本語および英語翻訳した高浜市の住みやすさに関する質問をした結果が本数値となっています。</p> <p>ご意見の自治体別住みよさランキングにつきましては、本調査と全く異なる対象・指標データにより算出していることから、まったく別のものと考えます。</p>  | ④その他   |
| 10 | 19ページ          | 施策の体系   | <p>ピンク色の線の囲みの中で、「①多文化共生の意識啓発」が矢印で書いてありますが、だんだん右に向かっていくような</p>  | <p>②から⑨へ向かっていく意図はないため、矢印ではなく、四角に修正します。</p>  | ①修正します |

|     |        |            |   |   |            |
|-----|--------|------------|---|---|------------|
|     |        |            | 感じがするので、矢印ではない方が良いと思います。  |   |            |
| 1 1 | 20 ページ | 多文化共生の意識啓発 | <p>取組み内容の 5 つ目で、「関係団体と協力し、国籍を問わず農業を通じて交流を行うことができる場を創出します。」とありますが、「農業」に限定する必要はないと思います。食文化だったり、料理だったり、広く「・・・食を通じて・・・」とした方が良いのではないのでしょうか。</p>  | <p>農業だけではなく、自国の料理を紹介し、交流を深める事業なども実施していく予定ですので、「関係団体と協力し、国籍を問わず食を通じて交流を行うことができる場を創出します。」に修正します。</p>  | ①修正します     |
| 1 2 | 20 ページ | 多文化共生の意識啓発 | <p>【楽しんで相互理解を深めあう場の創設】</p> <p>①外国籍の方と日本人共同での BBQ 大会を提案します。日本人の中でも BBQ は人気がありますが、外国籍の方の多くを占めるブラジル人は無類の BBQ 好きです。(母国では毎週末のように親族・友人とやっています) 他国の外国籍の方も、BBQ であれば参加しやすいと思います。また、それぞれのお国の料理での BBQ も、お国自慢になっていいのではないのでしょうか。</p> <p>②常設 BBQ 場の開設を提案します。上記の通り BBQ 大会を開催しない時でも、BBQ 場を常設しておけば外国人籍の方も日本人も集うので交流する機会が増える。</p> | <p>市としても食を通じた多文化交流を行うことにより、住民同士の相互理解が深まると考えており、現在も定期的に多文化交流事業として、様々な国の方が自国の料理を紹介し、一緒に食事をする取組みを関係団体と協力して実施しています。今後も BBQ には限定しませんが、食を通じた多文化交流事業を継続し、実施の際には広く市民に周知してまいります。</p> <p>また、常設 BBQ 場の開設については、公共施設全体の配置に関わることでありますので、ここでの回答は控えさせていただきます。</p> | ③意見として承ります |
| 1 3 | 20 ページ | 多文化共生の意識啓発 | <p>【あいさつ活動の展開】</p> <p>コミュニケーションの基本と言えば、あいさつを交わすことから始まります。海外では、日本以上にだれかれ構わず挨拶を交わす国が多くあります。高浜市をあげて、あいさつを交わすことが常態化すれば、</p> <p>①外国籍の方と日本人間の共生意識の醸成につながります。</p> <p>②日本人を含む高浜市民の「大家族たかはま」の具現化に役立ちます。</p>  | <p>日本人、外国籍市民問わず、あいさつを欠いては相互理解を深めることはできないと考えます。また、地域での日常におけるあいさつが防災や防犯につながることも認識しております。</p> <p>あいさつは多文化共生の意識啓発を行う以前に、日常的に行われるべきであると考えますので、公共施設における窓口、市が実施する各種イベント等を行う際などには、外国籍市民に対しても積極的にあいさつをはじめとする声掛けを行ってまいります。</p>                              | ③意見として承ります |

|    |       |         |   |  |            |
|----|-------|---------|---|--|------------|
|    |       |         | <p>③防犯につながります</p> <p>&lt;注：追加展開&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な高浜在住外国籍の方の国のことばでのあいさつを高浜市民に習得してもらい、日本語以外でもあいさつを交わすようになれば、(1)外国籍の方にとって親しみがわく、(2)日本人にとっても国際化の第一歩となる、と考えます。</li> <li>・外国籍の方が日本人と接する機会が多い事業所でもあいさつ活動を展開してもらうよう依頼する(すでに、あいさつが常態化している事業所は多いが、あまり浸透していない事業所もある。更に、多国語でのあいさつはあまり例がないと思う)</li> </ul> | <p>また、相互理解を深めるために、今後高浜に住む外国籍市民の習慣や文化に関する情報を定期的に発信することを検討しています。その際には、それぞれの国のあいさつなどについても紹介していき、日ごろから外国語を使ってあいさつができる市民が一人でも増えればと考えています。</p>   |            |
| 14 | 21ページ | 情報発信の充実 | <p>【自動翻訳・やさしい日本語表現の関連団体へのノウハウシェア】</p> <p>市役所にある自動翻訳のノウハウを町内会やボランティア団体、中小企業、福祉施設など現状では翻訳に取組みが遅れていると思われる市内の団体とシェアすることにより、多文化共生のため情報発信情実の範囲を広げる。高浜市に在住する外国籍の方にとっては、市役所・多文化共生センターだけが生活の中での接点ではないため、包括的に考えた方が効果的と思う。</p>   | <p>自動翻訳のノウハウについては、積極的に伝えてまいりたいと考えています。</p> <p>また、やさしい日本語の表現については、現在市役所内でも浸透過程にあり、職員が習得して活用していくための研修等を開催してまいります。</p> <p>なお、ご意見にありますように地域関係団体との連携協力も必要であることから取組み内容の4つ目「企業や学校などとも連携し・・・」については、「企業や学校、地域関係団体などとも連携し・・・」に修正します。</p> | ①修正します     |
| 15 | 21ページ | 情報発信の充実 | <p>【他自治体や企業の取組み好事例などの情報の定期的入手と既存の取組みの見直し】</p>   | <p>おっしゃるとおり情報発信に関する環境は日々変化・進歩しておりますので、時代に合った有効な手段を検討および他の先進的な取組み事例を参考にし、情報発信の充実に</p>   | ③意見として承ります |

|    |       |            |   |   |            |
|----|-------|------------|---|---|------------|
|    |       |            | <p>情報発信に関する環境は、日々変化・進歩している。それに伴い、市の取組みの方策については見直す必要がある。(方針の頻繁な見直しは混乱を招くためその必要はないが、方針を実現させる方策については定期的に見直すべきである)</p> <p>上記1)を実施するなら、市内でシェアするノウハウも更新する。</p>  | <p>努めてまいります。</p>  |            |
| 16 | 22ページ | 窓口サービスの充実  | <p>公共施設は「縮充」方針を提唱しながら「多文化共生コミュニティセンター」は、旧民家を借用し、独立設置したこと自体が、日本人との交流機会を削減し、施設利用効率も低下では。</p> <p>⇒ 毎週、施設前を通過しますが、利用者を見た経験無し…</p>   | <p>多文化共生コミュニティセンターについて、令和4年度は日本人、外国籍市民問わず、年間延べ5,000人以上の方が利用しており、日本語の学習、外国籍市民の生活相談、多文化の交流の場として有効に使われています。</p> <p>特に土曜日は多くの方が訪れ、多文化共生のためのコミュニケーションづくりの場として活用されています。ぜひお越しいただき、交流の輪に加わっていただくと幸いです。</p>  | ④その他       |
| 17 | 23ページ | 日本語学習機会の充実 | <p>この提案についてはこの項目ではなく、「多文化共生の意識啓発」に入れるべきかも知れません。よろしくご理解下さい。</p> <p>【日本人が各国語(あいさつ程度)を学ぶことによる相互理解の増進]</p> <p>市内に在住する外国籍の方に先生になってもらい母国語の教室を開設し、交流の場とする。</p> <p>①教える内容はあいさつ程度とし、教わる側・教える側の抵抗感や負荷を小さくする。</p> <p>②外国籍の方に先生になってもらうことで、日本在住への自信を持ってもらえる。また、市民としての参加意識向上につな</p> | <p>多文化共生社会の実現を目指す上で、大きな課題となるのが言葉の壁であります。その壁をお互いに歩み寄り、超えていくことが目標実現には必要不可欠であります。</p> <p>とりわけ外国籍市民の方々が日常生活をより快適に過ごしていくために、外国籍市民からもニーズの高い日本語学習機会の充実は、ご意見いただきました点についても考慮しながら、あえて取組項目4として取り上げておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、ご意見いただきました具体的な取組みにつきましては、計画を推進していく中でその取組みの実施について、検討してまいりたいと思います。</p> | ②原案どおりとします |

|    |       |            |  |  |            |
|----|-------|------------|--|--|------------|
|    |       |            | <p>がる。(大家族たかほまの意識増進)</p> <p>③料理教室やお茶会などのお楽しみを兼ねた形で行い、交流を主とする</p> <p>④高浜の日本人の国際化の一助とする</p> <p>こうした取組みを入り口として、その後の私的交流や信頼関係の醸成につながると更に意味のある取組みになる。</p>   |  |            |
| 18 | 25ページ | 労働・居住環境の整備 | <p>「外国籍市民が日本のルールを守りながら安心して暮らしていけるよう、ごみに関する各種案内を多言語で対応します」と記載があるが、「ごみ」のことは代表として挙げられていると理解します。もし、そうだとしたらこの取組み内容に「ごみ」だけを記載するのは不適切だと思います。(高浜市が「外国籍市民＝ごみのルールを守らない」と言っているように誤解されないようご注意ください)</p>     | <p>外国籍市民に限らず、ごみのルールを守らないことから、近所トラブルなどに発展することは珍しくありません。外国籍市民に対しては、自国と異なるごみに関するルールを理解いただき、トラブルなく安心して暮らしてもらうために各種案内を多言語で対応するものです。</p> <p>しかしながら、「外国籍市民が日本のルールを守りながら安心して暮らしていけるよう」にするために、案内を多言語で対応するのはごみに限ったことではありませんので、「生活環境に関する各種案内」と記載内容を変更します。</p> | ①修正します     |
| 19 | 25ページ | 労働・居住環境の整備 | <p>「各種案内を多言語で対応します」と記載されていますが、市内のどこを対象としているのでしょうか？ 私が住んでいる集合住宅でも外国人の方が居住しており、多言語での各種案内を掲載することをよりよいコミュニケーションのために検討したいと考えますので、私営の集合住宅も対象としていただきたく。(当集合住宅ではごみの課題は外国籍の方かどうかということと関連しないと思っています)</p> | <p>ごみに関する各種案内については、適切な資源・ごみの分別を促進するための「ごみの分別便利帳」や「さんあーる」、「ごみステーションにおける看板の設置」を想定しており、それぞれに多言語で対応しています。</p> <p>看板を設置するごみステーションについては、外国籍市民が多く住んでいる集合住宅、市で把握している不法投棄が多い場所などを選定し、多文化共生関係団体と協力して設置しています。今後も地域のニーズに応じて設置場所を検討してまいります。</p>                 | ③意見として承ります |
| 20 | 25ページ | 労働・居住環境    | この取組みは市営住宅に絞っていますが、外国籍の方が居   | 本計画には、市が実施する取組みを記載していることが  | ②原案どおりとしま  |

|    |       |   |   |   |                   |
|----|-------|---|---|---|-------------------|
|    |       | <p>の整備</p> <p>住しているのは市営住宅に限ったことではないのはご存知の通りです。(市営住宅に居住している外国籍の方の比率は、それ以外のところに居住されている方も一定数いると思います) そうだとすると、市営住宅の居住者に限る理由はどこにあるのでしょうか？ 写真【市営住宅の多言語案内】に相当するものが、町内会にもありますし、共同住宅(マンション・アパート)にも類似した書類があります。私営の集合住宅に関しては管理者・他の居住者の理解が必要ですので実施の確実性は課題になるかも知れませんが、高浜市の取組みとして取組みの対象として市営住宅に限るのは、2032年度までの長期に渡る計画だけに、市の取組みとして合理性・公平性が担保できるのでしょうか？ ご検討されることをお勧めします。</p> <p>因みに、私見ですが私の住んでいる集合住宅(町内会)でも住民同士のコミュニティ形成は防災の観点からも重要と考えるため、外国籍の方をどうインボルブするかが課題の一つと認識しており、こうした面での高浜市のサポートは望まれるところです。</p> <p>市営住宅以外を対象とすることは市の職員の工数に関わる課題かもしれませんが、そこは業務の効率化や市営住宅以外の町内会・私営の集合住宅の協力も得ながら、「大家族たかま」の具現化のために取組んでいただくべきと考えます。</p> | <p>ら、取組み内容には市営住宅に関する内容を記載していません。</p> <p>もちろん民間の集合住宅にも多くの外国籍市民が居住していることは認識しております。集合住宅に関する取組みとしては、市が運営している市営住宅のみを対象としておりますが、外国籍市民一人ひとりへの生活に関する様々なサービスについては、各主体と連携・協力し、すべての外国籍市民が平等に受けられるよう努めてまいります。</p> | す   |                   |
| 21 | 27ページ | <p>災害時の支援体制の整備</p>  | <p>【対象の外国籍市民の対象リストの各町内会へのシェア】</p> <p>各町内会でも独自に防災活動を行っている中で外国籍市民</p>   | <p>日本人、外国籍市民問わず、基本的には町内会加入者でなければ、誰がどこに住んでいるかを町内会は把握していま</p> | <p>③意見として承ります</p> |

|  |  |  |   |  |  |
|--|--|--|---|--|--|
|  |  |  | <p>への対応が課題になっていると想像する。実際に町内に居住する外国籍市民を正確には把握できていないため、防災活動に抜け掛けが発生する状態です。高浜市として外国籍市民をリスト化しているなら（本人の許諾が必要かもしれませんが）、各町内会に対して、①使用目的を絞り、②機密書類として、公開すべきと考えます。少なくとも、私の住んでいる集合住宅（町内会）では、こうしたリストをいただけるなら活用します。</p> | <p>せん。個人情報保護の観点から、町内会に加入していない外国籍市民の承諾を得て、一人ひとりの情報を町内会において適切に管理、運用することは、容易ではありません。</p> <p>そのため、町内会などの防災訓練や各種イベントに外国籍市民にも参加していただき、日ごろから関係を築き、有事の際に助け合える関係を築くことが重要であると考えます。</p> <p>また、外国籍市民への有事の際の対応については、町内会だけでなく、市としての課題であると考えておりますので、引き続き外国籍市民に対する防災対策を進めてまいります。</p> |  |
|--|--|--|---|--|--|